



福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう98

アカゲラ

分類 キツツキ目 キツツキ科

住んでいる環境
・森林

小鳥の森で見られる時期
・冬(11月~3月)
※夏に見られる年もあります

小鳥の森で見られる場所
・ネイチャーセンター周辺
園内各地



わたなべ かずみつさん(6才)がかいてくれました。

3月 いきもの森予報

活動開始

3月になると、いろいろな**チョウ**が飛ぶようになります。小鳥の森では、早春のこの時期、**ルリタテハ**や**アカタテハ**、**ヒオドシチョウ**など色とりどりのチョウに小径のそばで出会えるでしょう。

また、3月下旬には**カタクリ**の花もさき始めます。このカタクリの**蜜**(みつ)をすいに、昆虫たちが集まります。春先に羽化した**コツバメ**や**ミヤマセセリ**など、昆虫界の**スプリングエフェメラル**(1年のうち、春にだけ現れるもの)が見られることがあるかもしれません。

カタクリの花を見ると
こんな虫にであえるかも!



カタクリ



ルリシジミ

カタクリ以外にもよく見られる、はねの表がうり色の小さなチョウ



コツバメ

はねのうらは茶色おもても暗い青で全体的に地味



アカタテハ

オレンジと黒のコントラストがきれい



ビロードツリアブ

モフモフでかわいらしいかま

雪に残ったサイン

雪の積もった日、ネイチャーセンターの近くで**タヌキのあしあと**を見つけました。タヌキは**夜に、木の裏や虫**など、いろいろな食べ物を探して森を歩きます。いつもは姿を見ることがむずかしい**タヌキ**ですが、実はすぐそばまで来ている**印**を雪の上で発見できました。また、森の中では**イノシシ**や**ノウサギ**のあしあとも残っていました。雪が全く積もらず、確認できないと思っていた**動物たちのサイン**でしたが、今年も見ることができ、よかったです。



恋の季節

森ではシジュウカラやヤマガラ**の「さえずり」**が聞こえてくるようになりました。さえずりは**メスへのアピール**や**なわばりせん言**のために鳴く声。つまり、**恋の季節**にしか聞けない声です。

また、ネイチャーセンターの外へきにかけてあるカメラ付きの**巣箱**や森の中にある巣箱を訪れ、今年の子育てに使えるかどうか確認をする姿を見かけることもありました。

まだ寒さが残る2月でしたが、**季節が移り変わって**いく様子を感じることができました。



スタッフだより

トンボじゃないトンボ

園内の沢の水の中で、ある生き物を見つけました。黒い頭に大きなアゴ、そして細長い体。ヘビトンボ（正確にはヤマトクロスジヘビトンボ）という昆虫の幼虫です。「トンボ」と名前がついていますが、トンボとは全く別。アミメカゲロウの仲間です。アミメカゲロウならば、「カゲロウ？」と思われるかもしれませんが、これまた違います。ヘビトンボはみなさんがよく知るアリジゴク（ウスバカゲロウ）に近い昆虫なのです。

名前がややこしく、キモかつこい姿の虫。こう見えて意外と人気者です。



レンジャー ますぶち しょうた

出前講座のご案内

小鳥の森では、市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

森の話や自然素材（放射線量の低い地域や県外からの寄付でいただいたもの）を用いた工作など色々な講座内容を用意しております。季節や人数、活動時間に合わせたプログラムの作成、組み合わせも可能です。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXにてお申し込み下さい（※希望日に予約が入っていた場合、対応できないこともございますので、ご了承ください）。



出前講座の様子

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2020年3月号№409 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま